

カードゲーム「2050 カーボンニュートラル」
公認ファシリテーターになることをご検討の皆さまへ

この度は、カードゲーム「2050 カーボンニュートラル」のファシリテーターになることをご検討いただき、ありがとうございます。

この文書は、ファシリテーター養成講座にお申し込みいただく前に、皆さまご自身がこのゲームを活用できそうかご検討いただくにあたり、お読みいただきたい資料となります。長文となりますので、お時間を確保いただき、じっくり最後までお読みください。

目次

1. これまでのわたしたちの歩みと願い
2. カードゲーム「2050 カーボンニュートラル」とは
3. ゲーム開発において大事にしている考え方
4. 價格体系とその背景
5. 公認ファシリテーター養成講座の内容
6. コミュニティ
7. 最後に

1. これまでのわたしたちの歩みと願い

わたしたち株式会社プロジェクトデザインでは、これまでに SDGs や地方創生などの社会課題をテーマとしたゲームの制作に携わってきました。そして、おかげさまで日本全国のみならず世界各地において、公認ファシリテーターとしてわたしたちが制作したゲームを運営してくださる仲間が増えてきました。

ゲームを通じた社会課題の理解と解決に向けた取り組みを促進できることを確認したわたしたちは、次なる世界が、そして日本が向き合うべき社会課題は何か？という問いを立てました。そして、相次ぐ異常気象や伝染病の流行など、地球単位で解決するべき課題として「カーボンニュートラル」というテーマが相応しいという考えに至りました。

カーボンニュートラルの実現のためには、まずはわたしたち一人ひとりがカーボンニュートラルに関して「知ること」、そのうえで「周囲に働きかけていく」ことが必要です。このゲームを活用することで、多くの人たちに「カーボンニュートラルは実現できる」という確信を与え、組織の事業活動や個人の日常行動の変革を生み出したいと思っています。

“志ある行動者たちを結び付け、高めあい、社会を取り巻く問題を解決する”
プロジェクトデザインは、その活動の実践者であり続けます。

この理念の実現に向けて、「志ある行動者」たる皆さまと行動を共にできることを楽しみにしています。

2.カードゲーム「2050 カーボンニュートラル」とは

カードゲーム「2050 カーボンニュートラル」は、過去から現在にかけて私たちが行ってきた様々な活動が地球環境にどのような影響を与えていたのかをマクロ的に俯瞰することによって、私たちの価値観や考え方に対する気づき、行動変容に働きかけるためのゲームです。つまり、ゲームにおいてカーボンニュートラル達成ができたかどうかは重要ではなく、「カーボンニュートラル達成のためには、どのような価値観や考え方から、どのような行動をするのか」について学びや気づきを持ち帰っていただくことが重要だと考えています。

カードゲームという共通体験から、体験者の間に共通言語が生まれ、フラットな視点で（多様な主体の視点で）カーボンニュートラルの概念を仕組み（システム）として捉えることができるようになります。

3.ゲーム開発において大事にしている考え方

プロジェクトデザインがゲーム開発において大事にしている点は2つです。

1. 現実世界を模していること
2. 現実の厳しさを感じるだけではなく、可能性も同時に感じられるようにすること

1は、カードゲーム「2050 カーボンニュートラル」は、現実社会を模したシミュレーションゲーム（模擬体験）だということです。そのため、体験した方々の意識や判断によって異なる結果が顕れます。体験した方々が「自分自身が現実社会を作り出している」という感

覚を持ってもらうことで、ゲーム体験を現実と紐づけて省察することができます。

2は、現実の難しさを感じるばかりではなく、未来に向けた可能性を感じられるツールとしてデザインしているということです。「現実を変えるのは難しい」と悲観するのみならず、「未来は自分たちが起点となって変えうる」という可能性を感じることができます。

4.価格体系とその背景

価格体系の根底にある考え方として、以下の状態を作り出したいと思っています。

- ・コミットメント（やる気）がある人にこそファシリテーターになってほしい
- ・プロフェッショナル（職業人）だからこそ質の高いワークショップを提供できる
- ・質の高いワークショップを体験した人が理解を深める
- ・ワークショップの質が高いため、体験希望者が更に増える
- ・これにより、ファシリテーターの活動の場（案件）が更に増える

また、以下に該当する方には、ファシリテーターになられることについて、今一度慎重にご検討いただくのがよいかもしれません。

- ・自分の意思ではなく誰かに指示されてファシリテーターになろうとする方
- ・ファシリテーターに依頼するよりも自分自身がファシリテーターになった方が金銭的に安く済むといった理由でファシリテーターになろうとする方
- ・カードゲーム「2050 カーボンニュートラル」を、自分自身の信念や信条から他人を説得するためのツールとして活用しようと考えている方（カーボンニュートラルの概念を「べき論」や「社会的な善惡」の観点から捉えた場合、そこからは賛成派と反対派の分断を生み出したり、取り組みが進まなかった場合に概念そのものを否定することに繋がったりすると考えています）

こうした考え方から、価格体系を以下のとおり設定しました。

	一般	Pay Forward
1. ファシリテーター養成講座の受講費用	165,000 円	88,000 円
2. 年間ライセンス費用	26,400 円	13,200 円

1は、2日間の「公認ファシリテーター養成講座」にご参加いただくための費用です。

2は、知的財産の年間使用料として定額・一律でいただく費用です。初年度分は受講費用と同時にご請求差し上げます。この費用は、ファシリテーターになっていただいた皆さんに向けた勉強会の開催やカードリニュアル時の交換・紛失補填（年間5枚まで）、ファシリテーターの皆さんのコミュニティの運営等のために活用していきます。なお年間ライセンス費用は知的財産の使用料を含みますので、ワークショップの運営（カードゲームの利用）による売上がある場合であっても、当該売上に対する使用料は発生しません。

また、カーボンニュートラル実現に向けては、次世代を担う学生に向けた教育や普及啓発が大切と考えています。このことから「Pay Forward」のライセンスを設定しました。これは、「公立学校の教員の方々」が「授業」で「学生」に向けて実施する場面に使途を限定したライセンスとなります。一般的にお金の力を働かせにくい教育現場でも活用しやすくなることを意図しています。

例えば以下の場合に該当されるときは、「一般」のライセンスを取得いただくことになります。

- ・組織内（企業内・役所内・学校内で教職員向け実施・NPO内等）で実施する場合
- ・組織外での実施（外部提供）をする場合
- ・公務員（自治体職員）が地域住民向けに実施する場合

5.公認ファシリテーター養成講座の内容

講座は2日間の対面で行います（ウイルス感染拡大等による対面自粛の要請がある場合はオンラインに切り替える等の変更をする場合があります）。

1日目

- ・チェックイン、関係性の構築
- ・ゲーム開発の背景、コンセプト
- ・ゲーム体験と解説

2日目

- ・カーボンニュートラルや脱炭素に関する詳細理解

- ・振り返りのポイント等
- ・カードの初期配布、カードのさばき方
- ・ゲーム当日を迎える際の注意等

6. コミュニティのために必要な Facebook アカウント

ファシリテーターになっていただいた皆さまとのコミュニティを Facebook 上で運営していきます。ここでは、ゲームを実践した知見やノウハウ、悩み、そして勉強会の情報などの共有をしていきます。Facebook のアカウントをお持ちでない方は、ファシリテーター養成講座のお申し込みの前に、アカウントの取得をお願いいたします。

既存のアカウントを利用したくない方や、会社等の都合で SNS を利用できない方は、アカウント名を知人等から検索されない形で（アルファベットのスペルを変えるなどして）、コミュニティ専用に作成いただくことも可能です。

7. 最後に

わたしたちプロジェクトデザインでは、クライアントからご依頼をいただきこれまで 100 種類以上のゲームを制作してきましたが、このカードゲーム「2050 カーボンニュートラル」は、社内での企画です。つまり、自分たち自身が発起人です。

カーボン（炭素原子）は、化学反応によって様々な形に性質を変えます。私たちと皆さまが協働することで化学反応を生み出し、日本から先行事例を世界に発出していけるイノベーションを起こしていくと確信しています。

日本国内における SDGs の認知率は 80% を超え、日本全国で SDGs に関する取り組みがなされるようになっていますが、SDGs ゲームを通じてファシリテーターの方々と共に歩みを進め、認知を広めることに貢献できたことは、私たちにとって喜びです。これと同様に、カーボンニュートラルに関しても、認知を広めて市民一人ひとりが行動を起こしていくことで、世界を変えていくことができると思っています。

公認ファシリテーター養成講座は、まさにそのスタートです。社会の問題を共に解決する「志ある行動者」として共に活動してまいりましょう。

養成講座で皆さまとお会いできること、心より楽しみにしております。

2022年8月 株式会社プロジェクトデザイン 代表取締役 福井信英

※ファシリテーター養成講座のページ



https://www.projectdesign.co.jp/2050-carbon-neutral/event_official-facilitator-training